

平成25年度第6回小平市図書館協議会要録

- 1 日時 平成26年3月13日(木)午後2時～4時30分
- 2 会場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員：10人 傍聴者：1名
事務局：中央図書館長、館長補佐兼庶務係長、小川西町図書館長、
調査係長、資料係長、仲町図書館長 計6名

4 配付資料 資料は省略させていただきます。

5 議事

(1) 報告事項

① 図書館運営状況について

- ・ 図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.1)

(これまでの報告)

- 1月23日 特別収集資料展示「チラシ&ポスター展」 中央図書館(～2月2日)
- 1月26日 冬の日図書館員(4家族) 中央・喜平・上宿図書館
- 2月18日 展示「図書館で本を読む。映画を観る。」 中央図書館(～3月19日)
- 2月26日 郷土写真展 全館(～3月6日)
- 3月6日、13日 民話講座「チェコの絵本と暮らし～絵本の国チェコで暮らして～」
講師：木村郁子氏(チェコ語翻訳家) 中央図書館

(今後の予定)

- 3月19日 障がい者サービス交流会 中央図書館
- 3月27日 子ども科学講演会「作ろう!のぞくと広がる、ちいさな世界ばこ」
講師：あべななえ氏 中央図書館
- 3月29日 小平図書館友の会古本市 中央公民館(～30日)
- 4月1日 こだいら子ども読書月間 全館(～5月6日)
※読書月間中に、松岡享子氏の講演会を予定。

- ・ 平成25年度月別貸出状況について(資料No.2)

2月末現在の資料貸出数は昨年同時期より約25,847点減少している。新規登録者数は、157人増、貸出者数は1,956人減となっている。国分寺市との相互利用の影響で増加分はあるが、貸出資料数については、1,384,410冊で、前々年度の1,334,306冊の数字に近い傾向にある。

- ・ 広域利用市別貸出状況について(資料No.3)

例年どおり、貸出者数は9割が小平市民になっている。広域の利用は減少しているが、「他市」の在勤、在学の貸出資料数については増加している。

- ・ 国分寺市との相互利用状況について（資料No.4）

国分寺市の図書館へ小平市民が利用する割合が、小平市の図書館へ国分寺市民が利用する割合に対し、約2.5倍となっている。開始から同じような推移で動いている。

- ・ 大雪の被害状況について

2月に2度の大雪があり、2月8日（土曜日）は、中央図書館の児童コーナー及び参考コーナーで雨漏りが発生した。他の地区館の被害は無かった。2月14日（金曜日）未明から15日（土曜日）にかけての大雪の被害は、中央図書館前庭の大木の太い枝が折れ、公民館との連絡通路のひさしの屋根板1枚が破損した。また同じ場所で、雪の重さで屋根板が1枚破損した。館内は、雑誌コーナーで雨漏りがあった。地区館では、喜平図書館の公用車駐車場の屋根が根元から折れ、公用車の屋根部分が陥没した。上宿図書館では西側駐輪場の屋根が崩落した。原因としては、双方とも老朽化によるものと考えられる。2月15日の朝は、交通機関も麻痺しており、職員の出勤にも影響が出たが、全館で通常どおり開館ができた。

その他、大雪とは関係がないが、中央図書館の2階参考室のパソコンが使える電源席のコードの位置を変更し、利用者が足を引けないように安全面で工夫した。

- ・ 「アンネの日記」関係図書の取り扱いについて

この件については、多摩六都図書館担当者連絡会議等でも情報交換をしているが、小平市立図書館では被害はない。2月21日にテレビ、新聞等で大きく報じられたことから、22日午後より、カウンター内に別置している。

- ・ その他として、仲町公民館・仲町図書館の愛称募集については、3月14日の選考委員会で決定される予定のため、4月5日号の市報及び次回の図書館協議会で発表する。

② ブックリサイクル実施状況について（資料No.5）

全3回の合計は昨年度と比較するとリサイクル提供冊数は減少しているが、リサイクル率は上がっている。

③ 3月市議会定例会について

一般質問について、図書館関係では3件の質問があった。

1件目は、「仲町図書館を中心としたまちづくりのグランドデザインと展望について」で、具体的には、①ウェブ図書館の導入検討の現状、②電子書籍・デジタール図書・障がいを持つ方のための各種機器、ソフト整備の方針、③学校図書館と連携した調べもの学習の中心館についての質問があった。これに対して、第1点目は、昨年3月に小平市図書館協議会から、「公共図書館における電子書籍利用をめぐる」が提言され、一般的な資料については、今すぐ電子書籍として提供することは考慮しなくてもよいとの考えが示されていることから、

ウェブ図書館の導入、及び電子書籍の整備については、今後の検討課題ととらえており、引き続き、国や他の自治体の動向を注視しながら、情報収集をしていく。第2点目は、特に、新しい仲町図書館で新たに実施するサービスではないが、現在、デジター図書、カセットテープの貸出を行っている。また、中央図書館、及び大沼図書館の対面朗読室にデジター図書再生専用機1台を設置し、館内でデジター図書を利用する環境も整備している。さらに、視覚に障がいのある方を対象とした情報提供サービス「サピエ」に加盟し、デジター図書をCDにダウンロードして、貸し出すサービスも実施しており、今後も利用者の多様なニーズに応じた図書館資料を提供していく。第3点目は、学校図書館相談員を新しい仲町図書館に配置し、学校図書館に関する相談業務全般を行う。これまで各図書館で受付をしていた、学校からの調べ学習用図書の申込窓口を1本化し学校の利便性を高める。また、新しい仲町図書館2階の児童コーナーに、調べものをするためのテーブルや椅子、カウンター席等を設置するとともに、調べ学習用のデータベースを利用できるパソコンの導入を予定しており、児童・生徒の学習支援を充実させていくと答弁した。

2点目は、「市民のための新たな図書館づくりが必要ではないか」で、具体的には、①市立図書館が果たしてきた目的と役割、②図書館活動の主な取組、③地区館等を含む市立図書館の現状、④課題とその対策・取り組み、⑤武雄市、及び伊万里市における指定管理者制度の決定プロセスをどのように分析、評価しているのか、⑥今後の目指すべき市立図書館の在り方についての質問があった。これに対して、第1点目は、図書館は教育基本法の理念に基づき、図書館法で規定されている、必要な資料を収集、整理、保存し、利用に供し、教養、調査研究等に資することを目的とし、生涯学習に寄与する役割を果たしている。第2点目は、全館へインターネット開放端末を導入し、レファレンス機能の向上、子ども読書活動の推進と学校図書館との連携の推進、障がい者・高齢者サービス等に取り組んできた。第3点目は、市立図書館の現状として、職員体制、開館時間、蔵書数、利用者数、本年度の当初予算額を提示した。第4点目は、課題として情報拠点としての機能強化、学校との連携強化。その対策として、図書館資料の充実、情報発信機能の強化、子ども読書活動の推進、学校図書館支援の充実を主な施策としている。第5点目は、武雄市は、開館時間の延長、開館日数の増、民間ノウハウの導入を目指し、市民アンケートを実施した上で指定管理者制度の導入を決定し、伊万里市は、これまで蓄積されてきた市民との協働による運営を継続していくために、指定管理者制度の導入をしないこととした。いずれもそれぞれの地域の実情等を考慮して決定したものであり、図書館の在り方を示している事例ととらえている。第6点目は、図書館運営の方法には、様々な選択肢があるが、現時点においては、現行体制の中で図書館本来の目的や役割に基づき、小平市教育振興基本計画に示されている施策を展開し、社会や図書館へのニーズの変化に対応する図書館を目指していくと答弁した。

3点目は、「魅力ある小平を緑と食と文化で発信しよう」で図書館関係が1点あり、具体的には、新築予定の仲町公民館・仲町図書館のカフェラウンジの検討状況についての質問があった。これに対して、人を介してサービスを行うカフェラウンジの設置を検討しているが、床面積はおおむね48平方メートル、座席数はカウンターとテーブル席を合わせておおむね16席を予定しており、限られたスペースなため、どのような事業者等に活用をお願いす

るかについても、併せて検討を行っている」と答弁した。

また、予算特別委員会の中では、6人の議員から、12点質問があった。

内容としては、仲町図書館関係が6点、古文書・地域資料関係3点、学校図書館との連携1点、司書資格について1点、上宿図書館の太陽光発電設計委託について1点あった。来年度当初予算については、今年26日の市議会最終日に議決される予定である。

④ 「第3次小平市子ども読書活動推進計画」に関するアンケートの実施について(資料No.6)

前回の図書館協議会で意見をいただき、修正した後、0歳から18歳までの子どもたちの読書状況を調査し計画の基礎資料とする目的で1月に実施した。小学校2年生に約600人、中学校2年生に約300人、市内の都立高校2年生に約300人、未就学の0歳から5歳までの幼稚園1園、保育園の私立と公立1園で約500人、合計約1700人にアンケート用紙を配布した。今後は、子ども読書活動推進計画の素案を作るため、図書館の内部でワーキングチームを立ち上げ、アンケートの分析を行っていく。

⑤ 小平市立図書館資料収集方針について(資料No.7)

前回、意見をいただいた小平市立図書館資料収集方針の改定案を提示する。図書館資料の収集方針を成文化したものとなる。小平市立図書館では、昭和50年代に定められたものを使ってきたが、内容の相違や、公開を前提とした表現になっていなかったなどから、改定を進めてきた。この内容で了承いただければ、図書館のホームページに掲載したいと考えている。今回の収集方針を基に、図書を選定基準や除籍基準など、順次改定を進めていきたい。

⑥ 仲町公民館・仲町図書館改築工事の進捗状況について

仲町公民館・仲町図書館の改築工事については3月11日に撮影した写真を配布した。現在、地上2階部分の鉄骨の組み立て作業を行っている。

今後の予定だが、今年度中に2階鉄骨部分の組み立てを完了する。来年度に入ると3階部分の組み立てと、配線等附帯設備工事に移り、平成26年9月末に完成、建物は10月1日から市の管理に移り、その後、建物の検査、備品等の搬入へと進み、平成26年度中のオープンを目指して進めている。

<報告事項についての質疑・応答>

委員：障がい者の方への郵送での本の貸出実績はどのくらいあるのか。また、デジ書の利用状況はどうか。

事務局：デジ書の貸出については144点、カセットテープは152点の貸出があった。今年度はサピエに加入したということで、昨年度と比べ2.5倍程度、増えている。最終的には、3倍を超える数値になると思われる。デジ書の貸出が増えた分、カセットテープの利用は昨年度の半分程度になっている。

委員：「資料収集方針」にある「図書館の自由に関する宣言」は、どこで宣言されているか。

事務局：公益社団法人日本図書館協会が宣言している。

委員：いくつかの自治体の図書館の収集方針を見てみると、資料収集に関して「図書館の自由に関する宣言」に基づくという規定ではなく、遵守するとか、尊重する程度に表現している。「基づいて」資料収集するというのは少し表現が強すぎるのではないか。もっと弾力的に表現すべきと思うが。

委員：「基づき」という表現は強すぎて、規制や制限の方向へ向かいかねないのではないか。

事務局：対案として、どのような表現がよいと考えるのか。

委員：日野市立図書館では、もう少し柔らかい表現をしていたと思う。日本図書館協会は任意団体であり、その宣言に縛られたような収集方針にはしてほしくない。

事務局：日野市立図書館では遵守すると表現している。「精神を遵守する」という表現のほうが良ければ検討したい。

委員：「図書館の自由に関する宣言」を勘案しながら、最終的には図書館の責任で行いますというような表現にできればよいのではないか。

事務局：少し時間をいただき、検討した結果を報告していきたい。

委員：「アンネの日記」の取り扱いについて、学校にも調査が入るかもしれないと聞いているが、現状でどうなっているのか聞きたい。

事務局：対応は各市の判断ということになっている。学校図書館については指導課からの指示が特にないため、様子を見ている。犯人が逮捕されたとの報道もあるが、模倣犯的なものがあると困るので、当面カウンター内での別置を考えている。

委員：小平市での被害はないということか。

事務局：被害はない。

委員：行事予定で4月2日から8日まで発達障害啓発週間とあるが、これは国の啓発なのか。できれば、具体的な展示内容も示してもらいたい。

事務局：国連総会において毎年4月2日を世界自閉症啓発デーとすることが定められている。このことによりそれぞれの加盟国が、自閉症の子どもについて、家庭や社会全体の理解が進むように、意識啓発の取り組みが求められるようになり、日本では4月2日からの1週間を発達障害啓発週間とし、自閉症や発達障がいを多くの方々に理解してもらう機会としている。この発達障害啓発週間に合わせ、図書館では発達障がいに関する図書を展示する。

委員：障害の「害」をひらがな表記する場合と漢字で表記する場合があるが、どう使い分けているのか。

事務局：法令等の場合は漢字表記としているが、それ以外は近年は平仮名表記が多い。

委員：収集方針が出来上がったら、今度は選書基準ということになると思うが、公開に関しては選書基準まで公開するのか。さらに選書基準からより具体的なものを作る予定はあるのか。

事務局：具体的には選書基準まで考えている。他に具体的なものとはどのようなものか。

委員：他の図書館の事例だが、担当者が変わった場合、従来あった資料が減ってしまったり、資料の種類が変わってしまったりということがある。図書館は、蓄積に基づくサービスなのであまり具体的にすることも難しいので、その辺も考慮してもらいたい。

委員：基準はなるべく単純なほうがよい。基準を細かくしすぎるとそれに縛られてしまうので、

細かく定めればよいというものではない。

委員：細かく規定をしすぎると、今度は継続性だけということになり、社会情勢に対応していないということになる。収集方針から選書基準、さらに具体的な内規などは難しいと考えている。

(2) 協議事項

① 平成26年度小平市立図書館事業計画（案）について（協議資料1）

毎年、事業計画を策定し、この計画に基づき事業を行っている。昨年度からの変更点を説明する。

基本方針について、昨年度から4年間をスパンとした実行プログラムに変更したため、これに合った記述に変更した。

小平市教育振興基本計画における図書館の主な施策の中の④学校図書館支援の充実というところで、学校図書館システムに関する相談受付等の支援というところを新たに加えた。

次の推進事業では、仲町図書館の建替えと、第2次小平市子ども読書活動推進計画の2つの柱を基本として記述した。

実施事業の中では、レファレンスサービスとして、新仲町図書館へのインターネット開放端末、オンラインデータベース導入の計画している。講座・講演会、展示等の開催では、様々な分野の文学作家や専門家による講演会の開催を加えた。ポスター・チラシ展の開催は今年度から始めたが、来年度も引き続き開催する。障がい者・高齢者サービス（ハンディキャップサービス）は、録音図書の記述をカセットテープからデジタイズ図書に変更した。対面朗読を全館で実施とし、音訳ボランティア養成のための講習会は、さらなる発展を目指している。また、宅配サービスの検討は、再来年度からの実施に向けて検討するため掲載した。広域利用の推進は、国分寺市との相互利用が開始されたこともあり、文言を修正した。図書館ボランティア活動の促進は、現状に合わせブックリサイクルの準備を削除したが、デジタイズ図書の製作等については、活動が徐々に定着してきたため追加した。実習生や職場体験等の受入れでは、図書館見学に幼稚園児を追加した。広報活動の「家族一日図書館員」は、夏以外にも実施を考えた経緯があるため夏休みの文言を削除した。仲町公民館・仲町図書館リニューアルオープンと愛称周知については追加掲載した。図書館開館40周年に向けての準備は、新規事業として追加した。

<協議事項についての質疑・応答>

委員：新仲町図書館にデータベースを導入し、「ヨミダス歴史館（読売新聞）」を提供するようだが、朝日新聞のデータベースは中央図書館で提供していることを考えると、新聞の記事検索をしたい人は立場の異なる新聞を対比しながら利用するとなると、どちらかにまとめるか、両方の館で両方のデータベースが利用できるようにしてもらいたい。

事務局：予算的に難しいので、来年度以降の検討課題としたい。

委員：国立国会図書館のデジタル化資料の提供に関しては、いくつかの図書館では行われている

が、この事業計画の中での対応はどうなっているか。

事務局：国立国会図書館では、デジタル資料のダウンロードを始めたため、小平市も申請を進めている。デジタル資料については、図書などは昭和43年までとかなり制限されている。また、資料数もかなり限られていることから、今後の検討課題としたい。

委員：「新仲町図書館」と「仲町図書館」の表記が混在しているが、「仲町図書館」に統一できないか。また、実習生や職場体験等の受入れの、図書館見学で「小学生、幼稚園児」に保育園児を加えたほうが良い。また、図書館開館40周年に向けての準備の文中の「27年」は、「27年度」の間違いではないか。

事務局：仲町図書館については、それぞれ意味合いが違うため使い分けている。図書館見学の文中の表記で「保育園児」については追記したい。「27年」は「27年度」に修正する。

委員：障がい者・高齢者サービス（ハンディキャップサービス）の中で、在宅障がい者等への図書資料の郵送等による貸出サービスの他、例えば昭和病院などには図書室がなく、大きな病院などの長期の入院患者からの要望に対してはどう取り扱うか。また、障がい者に限るのか、高齢者にまで枠を広げられる可能性はあるのか。

事務局：長期入院患者の事例はない。高齢者の方については個々の状態に差があり難しいが、「図書館の望ましい基準」の中でも来館できない方へのサービスをどのように行うかが取り上げられており、今後の検討課題としたい。

委員：無料の郵送に関しては、障がい者でないと、制度的に無料にならないと思う。先ほどの話で、昭和病院には図書室がないと言われたが、改築後に図書室ができたと記憶している。

事務局：無料の郵送については、障がい者でないと適用されない。昭和病院内図書室については調べる。

委員：対面朗読の全館の実施は、事前予約となるのか。

事務局：おはなし室を使用することもあり、調整が必要となり、事前予約としている。

会長：以上の点を訂正したうえで了承ということではいかがか。

委員：異議なし

② 平成26年度小平市図書館協議会日程（案）について

慣例として2カ月ごとの木曜日に開催している。できれば来年度もこの日程といたしたい。

会長：日程についてはいかがか。

委員：異議なし

(3) その他

なし